

第1章 理念・目的

(1) 現状説明

点検・評価項目①：大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

評価の視点1：学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の設定とその内容

評価の視点2：大学の理念・目的と学部・研究科の目的の連関性

同志社大学は、1875年11月29日に開校した同志社英学校を起源とする。2019年5月1日現在、14学部16大学院研究科を設置し、学部学生26,686名、大学院学生2,246名を擁して京都市上京区の今出川校地及び京田辺市の京田辺校地の二校地体制で教育を展開する総合大学に発展しており、2025年には創立150周年を迎えようとしている。同志社建学の精神は、新島の宿志を記した『同志社大学設立の旨意』（1888年11月）において、

「其目的とする所ハ、独り普通の英学を教授するのみならず、其徳性を涵養し、其品行を高尙ならしめ、其精神を正大ならしめんことを勉め、独り技芸才能ある人物を教育するに止まらず、所謂る良心を手腕に運用するの人物を出さんことを勉めたりき」

「一国を維持するは、決して二三英雄の力に非ず、実に一国を組織する教育あり、智識あり、品行ある人民の力に抛らざる可からず、是等の人民ハ一国の良心とも謂ふ可き人々なり、而して吾人ハ即ち此の一国の良心とも謂ふ可き人々を養成せんと欲す」

と明確に宣言されている（資料1-1【ウェブ】）。本学では、この建学の精神を「良心教育」と呼びならわし、同志社英学校開校以来これを見失うことなく今日まで継承している。

本学は、「良心教育」の実践にあたって3つの教育理念、すなわち、

- ・キリスト教の道徳を徳育の基本とする「キリスト教主義」
 - ・自己を律して主体的に行動する自治自立の精神を涵養する「自由主義」
 - ・世界に目を向けて多様な価値観を受け入れることができる真の国際人たる「国際主義」
- を掲げており、それらが三位一体となって同志社教育の基底となっている。

さらに、本学では確固たる教育理念に基づいた5つの総合的な教育目標を設定し、人材養成目的の達成に努めている（資料1-2【ウェブ】）。

本学は、建学の精神に基づく大学、大学院及び専門職大学院の人材養成目的を、それぞれ「同志社大学学則」（以下「学則」。）、「同志社大学大学院学則」（以下「大学院学則」。）及び「同志社大学専門職大学院学則」（以下「専門職大学院学則」。）に定めている（資料1-3～1-5）。各学部学科・研究科専攻の人材養成目的は、それぞれ学則、大学院学則、専門職大学院学則又は同志社大学法科大学院学則（以下「法科大学院学則」。）に定めている（資料1-3～1-6）。

点検・評価項目②：大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表して

いるか。

評価の視点1：学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の適切な明示

評価の視点2：教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等による大学の理念・目的、学部・研究科の目的等の周知及び公表

大学、大学院及び専門職大学院並びに各学部学科・研究科専攻の人材養成目的は、前述のとおり、それぞれ学則、大学院学則、専門職大学院学則又は法科大学院学則に明記している（資料1-3～1-6）。

同志社建学の精神、大学の教育理念及び教育目標等は、同志社大学ウェブサイト（以下「大学ウェブサイト」。）で公表するとともに（資料1-2、1-7【全てウェブ】）、『同志社大学 大学案内』（以下『大学案内』。）にも掲載のうえ公表している（資料1-8）。さらに、『同志社大学データブック』や『DOSHISHA UNIVERSITY YEARBOOK』に掲載し、社会に広く発信している（資料1-9、1-10）。

学部学科・研究科専攻の人材養成目的は、各学部・研究科それぞれのオリジナルウェブサイトで公表し（資料1-11～1-65【全てウェブ】）、大学院専攻の人材養成目的は、『同志社大学大学院・専門職大学院案内』（以下『大学院案内』。）にも掲載して公表している

（資料1-66）。また、学部学科の人材養成目的又はそれをより詳述したものを各学部の履修要項に、研究科専攻の人材養成目的を『大学院履修要項』に掲載し、教職員及び学生に明示している（資料1-67～1-82、1-83）。

加えて、本学今出川校地と京田辺校地の正門前には、新島が生徒に宛てて書き送った一文「良心の全身に充満したる丈夫の起こり来たらん事を」を刻んだ碑文「良心碑」が建っており、学生および大学構成員は同志社建学の精神のシンボルとして日々意識をするところとなっている。また、本学では、入学式にて『同志社大学設立の旨意』が、創立記念式典にて『同志社設立の始末』が必ず朗読され、創立者新島の宿志を継承している。

点検・評価項目③：大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。

評価の視点1：将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策の設定

本学は、創立150周年を迎える2025年度に向けて大学が進むべき行路として「同志社大学ビジョン2025」（以下「ビジョン2025」という。）を打ち立てており、2025年度までに優先的に取り組む6つの大きなテーマ（「学びのかたちの新展開」、「キャンパスライフの質的向上」、「創造と共同による研究力の向上」、「『志』ある人物の受入れ」、「『国際主義』の更なる深化」及び「ブランド戦略の展開」）を掲げ、「同志社大学ビジョン2025」オリジナルウェブサイトで周知を図るとともに広く公表している（資料1-84、1-85、1-86【ウェブ】）。さらに、「ビジョン2025」で掲げた6つのテーマに沿った課題を「中期行動計画」として集約し、順次取り組んでいる（資料1-87）。また、学長は、毎年度はじめに中期行動計画に基づき当

該年度において重点的に取り組む課題を設定し、大学評議会での審議を経て教職員に周知する。当該年度終了後には、その達成状況を大学評議会にて報告のうえ教職員に周知している（資料 1-88）。

（２）長所・特色

創立者新島は、親交のあった勝海舟に「大学の完成には 200 年を要する」と述べている。建学の精神である「良心教育」と教育理念「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」は、創立者の志、すなわち同志社のレゾンデートルであり、今日の教育においても決して色あせない普遍性を有する内容であることから、「同志社 200 年の大計」として継承されているところに特色がある。

本学は、創立者によって明確に打ち立てられている建学の精神及び教育理念を具体化した総合的な教育目標を設定し、学部学科、研究科専攻は、これらに基づいてそれぞれの人材養成目的を学則に定めたうえで、大学ウェブサイト等を通して公表できている（資料 1-2【ウェブ】、資料 1-3～1-6、1-9、1-10、1-11～1-65【ウェブ】）。また、在学生に対しては、各学部の履修要項の冒頭や大学院履修要項の各研究科のページの冒頭に、人材養成目的又は人材養成目的をさらに詳細にした人材養成の指針を明記して周知と浸透のための工夫ができている（資料 1-67～1-82、1-83）。

（３）問題点

なし。

（４）全体のまとめ

本学は、揺るぎない建学の精神と教育理念を踏まえ、大学としての教育目標と人材養成目的を設定したうえで、学部学科、研究科専攻ごとに、人材養成目的を学則で明文化できている。これらはいずれも本学の特色を明らかにするものであると同時に、学校教育法第 83 条第 1 項に規定されている大学の目的にも沿い、高度の教育機関として、また、学術文化の研究機関として、ふさわしい内容を有するものである。

本学は、教育理念や人材養成目的等を、大学や各学部・研究科のウェブサイト等を通して社会に広く公表できている、また、各学部の履修要項等の刊行物にも適宜明記し、学内の構成員に周知できている。

本学は、教育理念や人材養成目的の実現に向けて、創立 150 周年を目途とした 6 つの優先課題、すなわち、1) 学びのかたちの新展開、2) キャンパスライフの質的向上、3) 創造と共同による研究力の向上、4) 「志」のある人物の受入れ、5) 「国際主義」の更なる深化、6) ブランド戦略の展開、を掲げた「ビジョン 2025」と、このビジョンを具体化するための「中期行動計画」を策定し、重点的に取り組む課題を設定しながら諸施策を遂行している。また、これらビジョンの内容やビジョンに関わる活動状況について、オリジナルウェブサイトの構築やパンフレットの作成を通して社会への発信に努めている（資料 1-85、1-86【ウェブ】）。